

1. 科目名 (単位 数)	心理学的支援法 (演習)	3. 科目番号	SPMP3351
2. 授業担当教員	中野 真也		
4. 授業形態	グループ発表、ディスカッション、体験学習 (ロールプレイなど)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	臨床心理学概論や心理学支援法 (基礎) の授業を履修していること。		
7. 講義概要	心理学的支援法とは、何らかの援助を求める人(クライアント)に対して、行動変容を目的として、言語的・非言語的なコミュニケーションを道具として援助しようとする試みのことであると考えられがちである。しかし現代社会においては、心理援助を行う者の心構えは (カウンセリング・マインドと言われる)、対クライアントのみならず、地域支援やクライアント関係者、また大学での友人関係や部活動並びに職場や家庭においても「お互いに支えあう人間関係」を築く上で、重要な考え方やあり方を示唆している。そこで、本演習では、カウンセリングの理論と技法を学ぶと共に、より広く訪問支援や地域支援、クライアント関係者支援などの援助についても学び、自分の日常のコミュニケーションのあり方を振り返りながら、相手に寄り添うより適切な援助法を身に付ける。また、守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮も学ぶ。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法 (論理療法) を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術 (訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等) について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題	<p>各回の振り返り用紙記入とは別に、2つのレポート課題を行う。</p> <p>レポート課題1：ロールプレイ演習のための、自らが演じるクライアントロールを設定すること</p> <p>レポート課題2：授業内で学んだ多様な支援とその方法を踏まえて、ロールプレイ演習を通じての自分のコミュニケーションの特徴や課題をまとめ、今後の仕事や生活にどう活かしていくか、について記述する</p>		
10. 教科書・参考 書・教材	配布資料をもとに講義を行う		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代社会がクライアントの悩みの解決だけでなく、なぜ多くの人々がカウンセリング学習を求めるのか、その背景や理由が理解できる。 2. カウンセリングの基礎的な理論や技法である精神分析・来談者中心療法・行動療法を復習した上に、現在の主要な理論となっている認知行動療法 (論理療法) を含めたさまざまなカウンセリング理論と技法が理解できる。 3. 対クライアント以外の援助技術 (訪問支援、地域支援、クライアント関係者への支援等) について理解できる。 4. 守秘義務等のクライアントのプライバシーへの配慮について理解できる。 5. 受講生がグループ発表を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を高められる。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <p>授業への参加 (出席、態度、発言) 50%</p> <p>レポート・発表・確認テスト 50%</p> <p>以上で評価を行う。</p>		
12. 受講生への メッセージ	さまざまな心理学的支援について学ぶとともに、主にロールプレイを中心とした演習を通じての体験的な学習になります。自らのコミュニケーションや人への関わりを見つめることにはなりますが、その気づきを活用し、自分を変える機会にもなります。公認心理師などを目指す人はもちろんのこと、日常的な生活での人間関係にも活かせるための、コミュニケーション・トレーニングになるため、ぜひ積極的に受講してください。また、オブザーバー役も含めて、各回で一緒になったグループで、よりよくなるための話し合いと発表も、周りの人を大事にしながらか人間関係を築く演習と考え、協力して取り組んでください。		
13. オフィスアワー	授業内で周知する		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション:本講義の概要とコミュニケーション演習	事前学習	シラバスを読んで準備しておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第2回	力動的アプローチ (精神分析など) と、「気づきを促す」演習	事前学習	精神分析療法などについて、これまで学んだことをおさらいしておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第3回	人間性心理学的アプローチ (来談者中心療法など) と、「内的準拠枠を共感的に理解しようと努める」演習	事前学習	来談者中心療法について、これまで学んだことをおさらいしておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる

第4回	行動論的アプローチ（行動療法）と、「具体的な事実・行動を情報収集する」演習	事前学習	行動療法について、これまで学んだことをおさらいしておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第5回	認知論的アプローチ（認知療法）と、「考え方を知る」演習	事前学習	認知療法について、これまで学んだことをおさらいしておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第6回	システミックアプローチ（家族療法）と、「関係者の動き・関係を把握する」演習	事前学習	家族療法について、これまで学んだことをおさらいしておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第7回	関係者支援、地域支援、訪問支援と、「他の職種と連携するためのファーストコンタクト」の演習	事前学習	さまざまな支援の形とポイントについて、これまで学んだことをおさらいしておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第8回	相手の立場に立ってみる：「クライアントロールづくり」の演習	事前学習	事前に指示されたクライアントロールの作成のポイントについて、準備しておく
		事後学習	レポート課題1となる、自分が演じるクライアントロールについて、まとめる
第9回	かかわり行動：非言語的コミュニケーションと相手に合わせること	事前学習	配布テキスト「マイクロカウンセリング」について、ポイントをまとめておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる。また、クライアントロールを演じてみて、必要であれば修正を行う
第10回	相手と関係をつくる：関係形成のためのコミュニケーション	事前学習	良好な会話のキャッチボールについて、自身の経験を振り返り、まとめる
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第11回	質問技法：開かれた質問と閉ざされた質問	事前学習	マイクロカウンセリングの質問技法について、ポイントをまとめておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第12回	相手の語りを受け止める、共感する、言い換える：相手の語りのどこをどう受け止め返すか	事前学習	マイクロカウンセリングの明確化について、ポイントをまとめておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第13回	自分の意見を伝える：支援者が自分の考えを伝えること、助言や提案	事前学習	援助的コミュニケーションにおける支援者が自分の意見を伝えることについて、考えをまとめておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第14回	相手の語りをまとめて伝える：要約	事前学習	マイクロカウンセリングの要約について、ポイントをまとめておく
		事後学習	演習で体験したことを振り返り、まとめる
第15回	ロールプレイ演習のまとめ	事前学習	これまでのロールプレイ演習を振り返り、自分の特徴や課題について、まとめておく
		事後学習	自分の特徴や課題を総括し、今後どのように支援的なコミュニケーションを伸ばし、成長させていくかについて、レポート課題2の準備を兼ねてまとめる